

フォーユー新聞



発行：奉優会
事務局
企画事業推進室

55号（平成25年2月発行）

第5回 事例研究発表会

が開催されました。

平成25年2月3日 玉川区民会館ホールにて第5回事例研究発表会が開催されました。各事業部の予選会を経て、その中から選ばれた12事例が出場し、一年の成果を発表しました。当日は、地域・自治体関係者、ご利用者ご家族の方をはじめ、266名の方にご来場いただきました。



最優秀賞



「MENS GRAND GENERATION」



高輪いきいきプラザ / 鬼澤・青山

グランドジェネレーションの退職により、個人消費活動や地域活動の活性化が期待されている。

しかし、男性のグランドジェネレーションのいきいきプラザへの来館者が少ない。

課題

1. 地域に潜在的にある市場規模に対して、いきいきプラザへの登録者数・来館者数ともに少ない
2. 事業を展開しても集客できない
3. 女性の登録・参加状況に比べ、男性の参加が極端に少ない



グランドジェネレーションとは

放送作家・脚本家の小山薫堂氏が提唱するアクティブなシニア層の新しい呼称。グランドには「尊大な」「最高位の」という意味があり、この世代が人生の中でも最上であるという考えに基づいている。

既存のサービスがメンズグランドジェネレーションのニーズに対応できていないのでは！？

起案

『共感が味わえる経験をつくり出す

同世代の男性によるプロモーション集団をつくろう！』



地域の豊富なコネクションをもつ町会長の力をお借りし、メンズグランドジェネレーションを対象とした

地域の自発的な地域活動団体

「高輪MENSクラブ」を発足した！

注意を惹くための 広報

関心を惹くための 事業

検索をして頂く 仕組み

行動参加しやすい 土壌

共有したくなる 経験

成果！

地域男性との協働によるプロモーション活動で、来館者を増やし、地域の活性化を図ることができた！



注意 元新聞記者の男性が地域取材し、地域の今昔を比較した「今昔物語」を作成、配布。



関心 港区主催の介護予防事業ブースへ出展し、MENSクラブの活動をアピール。



検索 活動風景を撮影しPVとして活用、情報収集検索ツールとしてツイッター勉強会を開催。



行動 男性の地域参入により明るく誰もが自己実現を叶える社会づくりを目指す。

共有 WEB、広報誌、事業実施、そしてMENSクラブによるプロモーション活用で、地域情報の共有を図る。



優秀賞



「おむつ外しへの取り組み」

～おむつでの排泄はもう嫌だ！～



かわいの家 ほおのきユニット
／岩田・柴崎・浜元

「おむつ使用率10%以下を目指していく」を目標に掲げ、サービス向上委員会を発足。

科学的介護によるおむつ外しの4大ケアに取り組む。

- ① 1日1,500ml、又はこれ以上の水分
- ② 下剤の中止と下剤に代わる生理的排便のケア
- ③ トイレでの排泄
- ④ 歩行練習

施設・各ユニットでの取り組み

①提供コップを容量の多いものにする

200cc→250cc以上のもの



②起床時水分を強化する

起床時に冷茶を接種することで、起立性胃大腸反射を促す。



③お茶やゼリーを提供する

水分が進まない方にはゼリーを提供。



④立位保持の実施

立位保持訓練を実施。トイレ誘導が難しい場合はポータブルトイレを活用。

成果!

- ①自立排泄効果が表れた。
- ②2名のおむつ外しに成功
- ③水分強化・歩行訓練強化により、下剤の減少に繋がった。



日中の活動性がUPし、かわいの家が掲げる「人生のやり残しゼロ」につながった。

理事長賞



「衰弱期の過ごし方」

～等々力の家 看取りケース



等々力の家／越前屋・鎌形・埜

等々力の家でお過ごしになられた二名の方の事例を発表させていただきました。

K様（平成23年1月入所 享年97歳）

衰弱期を迎えても、最期までK様のペースを尊重し、K様らしい生活ができるよう支援させていただきました。居室には、K様がよく歌っていた音楽を流し、みんなでご飯を食べるのが大好きとおっしゃっていたK様には、最期まで食堂に出てたくさんの人がいる中でお過ごしいただきました。

ターミナル後、娘さまは、「ゆっくりと見送ることが出来た」「やれることは全部できた」「施設で過ごすことで毎日たくさんの人に囲まれ声をかけてもらったことがきっと力になったんだろう」と話されていました。天寿を全うし、本当に幸せな最期を迎えられた、と感謝のお言葉もいただくことができました。



M様（平成13年5月入所 享年95歳）

誤嚥性肺炎と心筋梗塞により救急搬送された際、今後の経口摂取は難しいと医師の診断がありました。経口摂取をあきらめ自然に死を待つか、胃瘻増設し延命するか。

「生きてほしい」ご家族様が出された結論はこれまでの意向を改め、胃瘻増設により延命を行う事でした。退院後M様は栄養はとれるものの、以前とは違った様子で体調も落ち着かず、不安定な日々を過ごされていました。その様子を見て、そして、ご家族様の意向は固まりました。やるだけのことはやった、もうこれが本当に最期なんだ、と。これ以上の延命はせず、施設で看取ることをご希望されました。後日、ご家族様からは等々力の家で本人らしく看取りが出来て満足しているというお話をたくさんいただきました。



常務理事賞



「生活基盤型通所介護における新たなサービスの試み」



高円寺デイ／樋口・川久保・山田

ご利用者T様のケース

79歳、要介護度2、アルツハイマー型認知症（後期）、認知症日常生活自立度ランクIV（日常生活に支障をきたし常に介護を要するレベル）散歩が趣味で一日三万歩も移動、警察の保護も多い。

→奥様の負担大、施設入所を検討

生活基盤型サービスの提供

T様への支援内容

①買物支援サービス



②通院支援サービス



③外出支援（散歩）



④訪問理美容



⑤認知デイ短時間利用

成果!

ご家族の在宅生活による身体的・心理的負担が軽減でき、認知症介護への戸惑いや否定を受け入れることができた。

ご家族からのメッセージ
「精神的・肉体的にとても助かっております。私も施設のことばかり考えず主人と向き合っていこうと思います。これからも宜しくお願いします。」

マニユアル大賞 & マーケティング大賞

事例研究発表会において、昨年に引き続き「マニユアル大賞」と本年度より導入された「マーケティング大賞」の表彰が行われました。

平成24年度マニユアル大賞

本年度は111マニユアルの中から選定されました！

マニユアル名	所属	氏名
「マニユアルの見える化」	等々力の家	鳴海・渡辺・角山
「請求マニユアル（すこやかさん）」	石神井GH	林
「セキュリティー般」	目黒高福	菊池
「最終点検マニユアル」	白金台いきいき	鞠子
「通所介護計画所作成マニユアル」	仲町デイ	平川
「新規事業所立上マニユアル」	渋谷・港・千代田統括課	安藤・竹中
「利用料請求書内容報告書作成マニユアル」	経理部	山田



【マニユアル大賞について】
 ①「事業所内で有益な効果が期待できるマニユアル」、②「他事業所・新規事業所へ水平展開でき、法人の発展に寄与できると思われるマニユアル」の内、特に優れたものに贈られる賞です。

平成24年度マーケティング大賞

所属	氏名
白金の森デイ	岸
新規事業統括2課（優っくり村）	市村
弥生高福	岩井

【マーケティング大賞について】
 事業計画で計画されたマーケティング戦略について、その計画の良さと活動結果を総合的に評価し、もっとも優れたものに贈られる賞です。
 ※マーケティングとは、顧客が求めるサービスや商品を作り、その情報を届け、顧客に満足いただけるよう取組む活動のこと。

職員懇親会等の様子

事例研究発表会后、職員懇親会が開催されました。全事業部の職員が集まり職員間の親交を深めました。



皆さまからのご意見

- 事例研究発表会后にご提出いただいたアンケートの一部をご紹介します。
- ・他の施設等の日常の取り組みについて、とても参考になった。
- ・今後、利用者様の不満などを気づいたり、相談にのっていきいたい。
- ・皆の頑張りが良い刺激になった。
- ・ご利用者様の人生を大切にサポートしていきいたいと思った。
- ・来年度の計画のヒントになった。男性を取り込むなどの重要性をぜひ実施していきいたい。
- ・様々なことに取り組める環境があり自分自身成長できると思った。
- ・自分の事業所との違いを感じた。足りない部分、やってみたいことがたくさんあった。
- ・発表の仕方（パワポ、動画などの視覚効果）も勉強になった。
- ・職員の意識の高さ、熱意が伝わった。
- ・情報、目標を共有する機会があるのはとても良いことだと思う。



優っくり村鎌田がOPEN しました。

平成25年2月1日、世田谷区鎌田にて奉優会5ヶ所目の優っくり村である「優っくり村鎌田」の運営がスタートしました。（写真は25年1月17日に行われた開所式の様子です。）



優っくり村鎌田の概要

事業所名	優っくりグループホーム鎌田
所在地	世田谷区鎌田3-31-19
最寄駅	二子玉川駅→砧南中前バス停
TEL	03-5491-5897
開所日	平成25年2月1日
事業	グループホーム3ユニット
定員	27名
建物	鉄筋コンクリート造3階建
広さ	延床面積 969.06㎡

住みたい街日本1位！の世田谷のこの地に、優っくりグループホーム鎌田がオープンしました。1月17日の開所式・2月1日のオープン、共に澄み切った青空の中のスタートでした。自然や文化遺産も数多く、ブランド化した美味しい食材、そして長年この鎌田の地を愛し大切にされてきた温かい地域の皆様。どれをとっても、本当に恵まれた環境にあると感謝の気持ちでいっぱいです。明るさだけは自慢の職員達ですが、少しでも早く地域の一員となれるように、そしてどなたがいらしても、ホッとできる場になれるよう、みんなで頑張っていきます。よろしくお願いたします。



優っくり村鎌田
支配人
後藤 恵美



優っくり村鎌田は、オーナー井山利一様が地域の福祉に貢献したいと奉優会のために建設してくださいました。

(仮称) 淡路町高齢者施設の施設名 が決定しました！

平成25年6月より、千代田区神田淡路町においてショートステイとデイサービスの運営が開始されます。皆さまに施設の名称（高齢者部分）を公募させていただいたところ、たくさんのご応募をいただきました。検討した結果、次のように施設名称が決定しましたのでお知らせいたします。

高齢者施設全体の名称 『淡路にこここフォーユープラザ』

ショートステイ 『フォーユーショートステイ 淡路』

デイサービス 『フォーユーデイサービス 淡路』

※現 西神田高齢者在宅サービスセンターが淡路にこここフォーユープラザに移転します。

認知症対応型
デイサービス 『優っくりデイサービス 淡路』



事業内容・定員	■ショートステイ（2ユニット、定員21名） ■デイサービス（定員30名） ■認知症対応型デイサービス（定員12名）
所在地	千代田区神田淡路町2-109
開所日	平成25年6月（予定）
建物規模	地上8階、地下1階（高齢者施設 地上6階から8階） 敷地面積 約660㎡ 延床面積 約3,700㎡（高齢者施設専用面積 約1,200㎡）
建物概要	7・8階 …ショートステイ 6階 …デイサービス、認知症デイサービス 5階 …厨房（共有） 1階～4階 …千代田区立神田保育園



淡路にこここフォーユープラザは、在宅生活の支援を目的とした高齢者介護施設です。

ショートステイ・デイサービス・認知症対応型デイサービスの各サービスを提供し、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう支援します。また、同一建物内に併設する区立神田保育園と連携し、“高齢者と子ども達との交流”にも取り組んでいきます。

応募者数…43名 応募名称数…116案（デイ・ショートの名称を含む）

決定方法…頂いた案を基に、経営会議で決定されました。

応募いただいた名称（一部）…「淡路の家」「プロッサムガーデン淡路町」「虹色プラザ」「さくら淡路町」「一口の里」「Life with 淡路町」「のんびり村」「淡路ゆうゆうステーション」「オアシス淡路町for you」「淡路スマイル館」「総合コミュニティあわじ」「神田ーら淡路町」「神田淡路町福祉タウン」「淡路みち・いえ」「優こ優こ」「いけいけ千代ちゃん」「高齢者施設あ☆わ☆わ」「ハートハウス」他多数

ご応募ありがとうございました。

編集後記

3年以上前から計画していた淡路町高齢者施設の名称が決定しましたね。実はこの事業、当所は、園児との交流が一つのテーマになることから、映画のタイトルを参考に「ビルの上のポニョ」という企画をしていました。保育園が併設された当施設に「にこここ」という言葉は、ぴったりではないでしょうか。 築山